

4813 **パリ滞在記：発信の仕方に悩む** ② 104

1ヶ月間、パリ滞在には、特別な思いがあった。

パリ、**年末年始訪問は3度目**。単なる旅行者でなく、第2外国語もフランス語選択。

今は、話せないし、情けない状態だが、片言が、少しは役立ったと思う。

ビジネス時代、商社の友人や、アンテナショップのブティックを経営していたこともあって、

視察や仕入れでパリは訪問。しかし、訪問先は限定される。そんな**背景**もある。

数奇な運命。セーヌ河やサントノーレ通りが懐かしい。



行き帰りの飛行機と、最初と最後の2～3泊だけ、
ホテルを手配して頂いている**旅行社の社長さんに、お知恵拝借とメール。下記はその回答。**
旅行関係の経営者との親交は、3社ほどある。その1社からのメール。

入手できる情報のサイト始め、連絡をいただき、一応準備。
街中で、地図や資料を見るような危険な行為は、昨今の久楽の場合は、一切しない。
これは、ニューヨークでも同じ。ニューヨーカーになりきるのも一興。

久楽さん、

長らくの御無沙汰です。大変元気な様子で安心しました。小生は頸椎事故以来荷物があまり持てないので海外旅行は自粛していますので大好きなパリだけに貴兄がまことに羨ましいです。

アドバイスと言われてもどこから手を付けて良いのか判断に苦しみます。2003年から2008年まで毎年ひと月間家内とフランスをほっつき歩いてきた経験から滞在を楽しくするためのヒントを書きましょう。これらが約立つかどうかわかりませんが参考まで。

1. 滞在はパリをハブにして鉄道で片道2～3時間で行ける街を訪れることです。何ととってもパリはホテルも多いし食事のチョイスも幅広いのが最大のメリットです。
2. 行く先は矢張り観光案内の本を参考にして決めれば良いでしょう。ランス、アミアン、トゥール、ジベルニー、オンフルール、ルーアン、ディジョン等々、くさるほどあります。
日本でユーレールの切符を買って行くと良いでしょう。
ただ鉄道駅が5か所あり行き先によって変わるのでしっかり調べておく必要があります。ユーレール切符が無くても60歳以上はシニア割引があり外国人も利用出来ます。

列車のプラットホームが何番かは出発の15分前しか発表されませんのでお客は一齐にヨーイドンとなります。注意して下さい。

それに乗車前に切符をパンチしておかなければなりません。確か黄色か赤の小さなボックスがありますのでそこに切符を差し込んで下さい。

これをやってない と罰金を取られたりします。

3. パリ市内は地下鉄が縦横無尽に走っておりバスの便も多いのでどこへでも行けます。矢張りパリ市内は見る所が大変多いので最低でも一週間はかけて徘徊した方が良いでしょう。11枚からなる回数券がお勧めですバスにも利用も出来るので。

4. できるだけ意識してフランス語を使うと良いでしょう。

フランス文化に対する思い入れは強烈ですので相手も喜びます。

本を見ながらでも良いので思い切って使して下さい。

5. 注意事項として両替は政府公認の両替屋で必ず。観光地での両替は交換レートがぶったくりレートなので注意。また地下鉄ではスリが結構多いのでお金やパスポートなど気を付けて下さい。僕は手ではたいたことがあります。複数人数で来るので見知らぬ人間からの話しかけには注意が必要です。日本人のカモが多いんですよ。

ざっと思いついたのはこれくらいですが、何かここが聞きたいということがあれば、メールで問い合わせ下さい。

有難いことに、公私共、多様な仕事を体験しており、

友人や知人に、その経緯を説明するのが難しく、わかって、わからない人物像かも。

禅寺、鎌倉円覚寺に移住、俗人として、10年も座住したこと自体、

お前のやっていることがわからない。中には、時間をつくって、君の都合にあわせるからと。

人間嫌いではないが、あなたの部下ではない。久楽の今は、自称、自由人。

いささか規格はずれな人生もいいのではないか。本人は、規格はずれとは思っていない。

いささか、脱線しすぎだが、ご容赦。元に戻って。

オンザ ジョブ トレーニング。冷や汗は、ごめんだが、
熱い汗は、かきたい。その基本は、心身の健康。キーワードは、日々の運動。
好きなことをするため、食事づくりも、四苦八苦だが、DIY 生活。
このパリ訪問でも、日々のコントロールが課題。

パリでの、いろいろな出会いから、元気をもらった。勝手ながら、
出会いの光景や見聞、我が身の生活リズムにもなり、元気発信になればと、つづけている。
いつ、何があってもおかしくない領域に来ている。しかし、今は元気いっぱい。
先入観を排除。何でもないことに感動。出来る時に、出来ることを。
コロナも他人事ではない。皆さんと同じで、迷惑はかけられない。病気にもなりたくない。
またまた脱線。進行しながら、発信継続。下記は、大晦日の凱旋門。



人ごみの中、押されながら、年末年始、2年越しの取材。
画像の下部の影は、人様の頭。画像記録を残す格闘、大変だったが、面白かった。